

疊	敷	二〇	二三	四三	六八
漆喰タタキ	一六	二四	四〇		
コンクリート	九	二六	三五		
煉瓦敷	四	二	六		
其ノ他	一五	一〇	二五		六種ヲ包含ス
食堂無シ	七	六	一三		
合計	三一五	二二〇	五二五		

床面ノ種類(個數)

床面ノ種類ニ就キ各個數ヲ見ルニ板張ノ床面ヲ有スル食堂最モ多數ニシテ五割九分(三百十七個)在リ
 次ハ土間ノ床面ヲ有スル食堂ニシテ一割五分(七十九個)疊敷ノ床面ヲ有スル食堂ノ一割(五十三個)
 ニシテ爾餘ノ種類ヲ有スル床面ハ何レモ一割以内ノ少數ヲ算スルノミナリ

床面	個數	製絲工場ノ個數	織物工場ノ個數	合計	百分率
板張	二二七	九〇	三一七	五九	
土間	四〇	三九	七九	一五	

疊	敷	二四	二九	五三	一〇
漆喰タタキ	一七	二五	四二		
コンクリート	九	二七	三六		
煉瓦敷	六	二	八		
アスファルト	一	一	一		
合計	三二三	一二三	五二六		

坪數

一工場ニ於ケル食堂ノ坪數十坪以上五十坪未満ヲ有スルモノ最モ多數ニシテ五割六分(二百八十七工場)ヲ占メ次ハ一坪以上十坪未満ノ食堂ヲ有スル工場ニシテ三割(百五十二工場)在リ五十坪以上百坪未満ノ食堂ヲ有スル工場一割一分(五十四工場)ヲ算ス尙其レ以上坪數ヲ有スル工場ハ僅ニ一二

工場ヲ見ルノミナリ	坪數	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
一坪以上	六七	八五	一五二	三〇		
十坪以上	一八五	一〇三	二八七	五六		

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舎ノ現況

五十坪以上	四〇	一四	五四	七一
百坪以上	一七	一	一八	一
二百坪以上	二	一	三	一
合計	三二一	二〇三	五一四	

而シテ一工場ニ於ケル食堂坪數ノ最モ大ナルハ二百七十四坪シテ最小ナルハ一坪ナリ此平均坪數ハ二十六坪トス

坪數	工場名	平均
最大	製絲工場	二七四
最小	織物工場	二五六
平均	平均	二六五

一回ニ着席シ得ル人員
 食堂ノ一回着席人員ハ不定ニシテ必シモ常ニ一定不變ノモノニ非ス左表人員ハ各工場ニ於ケル豫定の人員ナリ之ニ依リテ觀レハ三人以上五十人未満ノ工場三割八分(百九十三工場)ヲ占メ五十人以上百

人未満ノ工場ハ二割三分(百十九工場)百人以上二百人未満ノ工場ハ一割九分(九十七工場)二百人以上三百人未満ノ工場ハ一割一分(五十七工場)ヲ算ス其レ以上ノ人員ヲ一回ニ着席シ得ル食堂ヲ設備スル工場ハ何レモ一割以内ノ少數工場ヲ算スルノミナリ

人員	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
三人以上	八六	一〇七	一九三	三八	
五十人以上	七五	四四	一一九	二三	
百人以上	七四	二三	九七	一九	
二百人以上	四一	一六	五七	一一	
三百人以上	二四	八	三二	一	
五百人以上	八	三	一一	一	
千人以上	一	一	二	一	
合計	三〇九	二〇二	五一二		

而シテ食堂ノ一回着席人員ノ最モ多數ナル工場ハ千百人ニシテ最モ少數ナルハ三人ナリ此平均人員ハ百十四人ナリ

工場名		人員	
製絲工場	織物工場	平均	七三
最	多	一、〇〇〇	一、〇〇〇
最	少	六	三
平均		一三八	八九

一人當リノ坪數

各工場ノ食堂ニ於ケル豫定の一回着席人員ニ基キ其ノ一人當リ坪數ヲ算出スルニ〇・一坪以上〇・三坪未滿ニ該當スル工場多數ニシテ六割六分（三百三十六工場）ヲ占メ次ハ〇・三坪以上〇・五坪未滿ニ該當スル工場ニシテ二割六分（百三十一工場）在リ尙其ノ他坪數ニ該當スル工場ハ何レモ少數アルノミナリ

坪數	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
〇・一坪以下	一	一	一	二	一
〇・一坪以上	二二〇	一二六	一二六	二二六	六六
〇・三坪以上	八〇	五一	五一	一三二	二六
〇・五坪以上	一七	一	一	二	一
〇・七坪以上	一	一	一	二	一
合計	三〇九	二〇一	二〇一	五二〇	

坪數	工場名	平均
〇・九坪以上	製絲工場	一
一坪以上	織物工場	三
合計		三〇九

食堂ニ於ケル一人當リ坪數ノ最モ大ナルハ一坪五合ニシテ最モ小ナルハ七勺ナリ而シテ此平均坪數ハ二合七勺ナリ

坪數	工場名	平均
最	大	〇・七
最	小	〇・〇八
平均		〇・二五

着席方法(工場數)

職工ノ食事狀況ヲ見ルニ食堂ヲ設備セサル工場ハ勿論之ヲ設備スル工場ト雖不秩序不整頓ノモノ尠カラス而シテ食事方法ハ坐食制ヲ採ル工場最モ多數ニシテ五割一分（二百六十一工場）ヲ占メ次ハ椅坐食制ヲ採ル工場ニシテ三割四分（百七十四工場）在リ又立食制ヲ採ル工場ハ一割一分（五十八工場）

ヲ詳ス尙左表其ノ他欄内ノ工場數ハ例ヘバ立食制ト坐食制又ハ坐食制ト椅坐食制等ノ如キ二種以上ノ混用方法ヲ採ル工場四種類ヲ合算セシモノナリ

方法	工場數		合	計	百分率	備考
	製絲工場數	織物工場數				
立	食	五二	六	五八	一一	
坐	食	一六四	九七	二六一	五一	
椅	坐	七七	九七	一七四	三四	
其ノ他		一七	四	二一		四種類ヲ包含ス
合	計	三二〇	二〇四	五二四		

着席方法(個數)

食事方法ニ就キ各個數ヲ見ルニ坐食法最モ多數ニシテ五割二分(二百八十個)ヲ占メ椅坐食法ハ三割五分(百八十九個)立食法ハ一割三分(六十七個)ヲ算ス

方法	個數	製絲工場個數	織物工場個數	合	計	百分率
立	食	六〇	七	六七	一三	
坐	食	一七九	一〇一	二八〇	五二	

椅	坐	食	八九	一〇〇	一八九	三五
合	計		三二八	二〇八	五三六	

床面ノ水洗

食堂ノ床面ヲ水洗シ得ル工場ト水洗シ得サル工場トハ其ノ數ニ於テ相半スルノ狀況ニアリ即チ水洗シ得ル工場ハ四割七分(二百三十二工場)ヲ占メ水洗シ得サル工場ハ五割三分(二百六十六工場)在リ

水洗	工場數		合	計	百分率
	製絲工場數	織物工場數			
能	一四二	九〇	二三二	四七	
不	能	一五六	一一〇	二六六	五三
合	計		二九八	二〇〇	四九八

採光狀況

食堂ニ於ケル採光ノ程度ヲ良、不良々二種ニ區別シ觀察スルニ採光良好ナル食堂ヲ設備スル工場ハ七割八分(四百四工場)在リ次ニ採光不良ナル食堂ヲ設備スル工場ハ二割二分(百十二工場)ノ少數ニ過キス

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舍ノ現況

工場數		製絲工場數		織物工場數		合 計		百分率	
採 光									
良	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
不	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二
合 計	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三

床面ニ對スル窓ノ面積

床面ニ對スル窓ノ面積カ床面ト等大乃至有スル工場ハ六割一分(二百七工場)ノ多數ヲ占メ次ニ有スル工場ハ三割二分(百八工場)在リ又以上ノ狭小ナル窓面ノ食堂ヲ設備スル工場ハ少數(十九工場)アリ其ノ他殊ニ甚タシキ工場ニ於テハ食堂ニ窓ヲ設ケス單ニ出入口ノミニヨリ採光スルカ如キモノ二工場在リ而シテ内以上ノ割合ヲ保持スル食堂ノ採光ハ甚不充分ナルヲ以テ暗ク從テ不潔ニ流ル、食堂多シ尙之ト反對ニ窓ノ面積著シク大ニシテ床面ノ二倍大ニ達スルカ如キ食堂ヲ設備セルモノ一工場在リ

面積		工場數		製絲工場數		織物工場數		合 計		百分率	
二倍	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一以上	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三

以上	六四	四四	一〇八	三三
以上	八	七	一五	一
以上	一	一	一	一
以上	一	二	三	一
無	一	一	二	一
合 計	二〇八	一二九	三三七	一

清潔狀況

食堂ノ清潔程度ヲ左ノ三階級ニ區別シ見ルニ内普通ト認ムル工場ハ五割四分(二百七十九工場)ヲ占メ良好ト認ムル工場ハ三割四分(百七十三工場)不良ト認ムル工場ハ一割二分(六十三工場)在リ併ナカラ此狀態ハ常時一定不變ノモノニ非スシテ絶ヘス増減スルコト又寢室ノ清潔狀況ト同様ナリ

程 度		工場數		製絲工場數		織物工場數		合 計		百分率	
良	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八
普通	一七八	一七八	一七八	一七八	一七八	一七八	一七八	一七八	一七八	一七八	一七八
不	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舍ノ現況

合 計

三三二

二〇三

五二五

防蠅設備

食堂ニ於ケル防蠅設備ハ頗不完全ニシテ寧蠅取設備ト稱スルヲ妥當ナラムカ其ノ防蠅設備有リト稱スル工場モ食堂内ニ漸ク二三個ノ捕蠅器又ハ繭ヲ備フルノミナリ而シテ此ノ設備ヲ有スル工場ノ四割一分(二百十六工場)又設備無キ工場ハ五割九分(三百六工場)ノ多數ヲ占ム如斯キ狀況ナルヲ以テ夏季ニ於ケル食堂内ハ蠅群ヲ隨所ニ認ム

設備 工場數

製絲工場數

織物工場數

合 計

百分率

有

一三五

八一

二二六

四一

無

一八六

一二〇

三〇六

五九

合 計

三三二

二〇一

五二二

食 器

使用狀況

食器使用ノ方法三種アリ内専用制ヲ採ル工場最モ多數ニシテ七割六分(三百九十五工場)ヲ占ム而シテ

此方法ヲ採ル工場ニ於テハ食後各自ニ食器ヲ洗滌シ箱膳又ハ食卓ノ引出内ニ收藏セシムル爲メ往々殘食物ヲ收藏シ次回ノ食事時ニ之ヲ食シ或ハ食後食器ヲ洗滌セス其ノ儘收藏スルカ如キ者在リ亦ニ食器共用制ヲ採ル工場ハ僅二割(百五工場)ノ少數ニシテ此ノ制度ヲ採ル工場ニアリテハ食後炊事人カ食器全部ヲ一纏トナシ水洗シ竹箆ニ入レ次回ノ食事時ニ食卓ニ配布シ平時ニ於テハ消毒ヲ施行スルカ如キコト無シ尙一工場ニ於テ専用及共用ノ兩制度ヲ併用スル工場ハ極メテ少數ニシテ漸ク十九工場在ルノミ此工場ニ於テハ茶碗ノミヲ専用トシ皿、椀等ヲ共用トシ茶碗ノ洗滌ハ職工各自ニ行ハシメ皿、椀等ハ一纏ト爲シ炊事人之ヲ施行ス

食 器 工場數

製絲工場數

織物工場數

合

計

百分率

專 用

二五〇

一四五

三九五

七六

共 用

五九

四六

一〇五

二〇

専用及共用

一一

八

一九

合 計

三二〇

一九九

五一九

消毒設備

食器ノ消毒設備ヲ有スル工場ハ甚タ少數ニシテ二割三分(百二十工場)在リ内毎食後完全ニ消毒ヲ施

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舎ノ現況

行スル工場ハ皆無ニシテ殆形式的ナルヲ遺憾トス而シテ之ヲ完全ニ施行スルハ工場内ニ傳染病流行セシ際ノミナルヲ以テ平時ニ於テハ之ヲ設備セサル工場ト何等選フ所無シ而シテ消毒設備無キ工場ハ七割七分(三百九十六工場)ノ多數ヲ存在ス

設備	工場數	製絲工場數		織物工場數		合計	百分率
		有	無	有	無		
		八〇		四〇		一二〇	二三
			二三五		一六二	三九六	七七
合計			三二五		二〇一	五一六	

置 場

食器置場ハ頗區々ニシテ食器ノ専用制ヲ採ル工場ニ於テハ職工各自ニ一個宛ノ箱膳ヲ貸與シ其ニ收藏シ又ハ食卓ノ引出シ或ハ棚、押入内ニ藏ス、次ニ食器共用制ヲ採ル工場ニ於テハ之ヲ一纏ト爲シ炊事人洗滌後竹箆ニ入レ炊事場ノ傍ラ又ハ棚ノ上ニ放置ス尙食器置場ヲ一定セス隨所ニ之ヲ放置スル工場少數在リ而シテ調査工場中食器置場ノ良好ト認ムル工場ハ四割(二百三工場)在リ不良ト認ムル工場ハ五割九分(三百工場)ヲ占メ尙全然置場ヲ設備セサルモノ八工場在リ

置 場	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率

設備	工場數	製絲工場數		織物工場數		合計	百分率
		有	無	有	無		
良		一三七		六六		二〇三	四〇
不 良		一七四		一二六		三〇〇	五九
設備 無シ		五		三		八	一
合計		三二六		一九六		五一二	

炊 事 場

床面ノ種類(工場數)

炊事場ノ床面ハ食堂ト同様區々ナリ内稍多數ナルハ土間ニシテ三割二分(百六十七工場)ヲ占メ次ハ「コンクリート」ニシテ一割七分(八十八工場)漆喰タタキ一割五分(七十七工場)板張ノ一割二分(六十三工場)在リ爾餘ノ床面ノ炊事場ヲ設備スル工場ハ極メテ少數ニ在ルノミ尙左表中其ノ他欄ノ一割六分(八十四工場)ハ一工場ニ於ケル炊事場ノ床面二種類以上ヨリ成ルモノ十五種内外ヲ合算ス又工場内ニ炊事場ノ設備無ク職工ノ食事ハ外部ヨリ搬入(弁当等)スルモノ十工場在リ

床 面	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率	備考
板 張		四九	一四	六三	一二	

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舎ノ現況

土	間	一〇七	六〇	一六七	三三
コンクリート		四八	四〇	八八	一七
漆喰タタキ		三四	四三	七七	一五
石	敷	一二	一二	二四	一
煉瓦	敷	九	六	一五	一
其ノ他		五九	二五	八四	一六
炊事場無シ		二	八	一〇	十五種類ヲ包含ス
合計		三三〇	二〇八	五二八	

床面ノ種類(個數)

炊事場床面ノ各種類ニ就キ其ノ個數ヲ見ルニ床面土間ノモノ比較的多數ニシテ三割五分(二百十四個)ヲ占メ次ハ「コンクリート」一割九分(百十八個)板張ノ一割九分(百十二個)漆喰タタキ一割六分(九十九個)ヲ算シ其ノ他ノ石敷及煉瓦敷ノモノハ極メテ少數ニシテ三十個内外在ルノミナリ

床面	個數	合計	百分率
土間	一四一	七三	二二四
コンクリート	七〇	四八	一一八
漆喰タタキ	四八	五一	九九
石敷	一九	一九	三八
煉瓦敷	一四	一二	二六
合計	三八〇	二二七	六〇七

製絲工場ノ個數 織物工場ノ個數

八八 二四 一二二 一九

採光狀況

炊事場ノ採光良好ト認ムル工場ハ七割九分(四百九工場)ノ多數ヲ占メ不良ト認ムル工場ハ二割一分(百六工場)ノ少數ヲ存スルノミナリ

工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
良	二五五	一五四	四〇九	七九
不良	六〇	四六	一〇六	二二
合計	三一五	二〇〇	五二五	

床面ニ對スル窓ノ面積

炊事場ノ床面ニ對スル窓ノ面積カ等大乃至有スル工場ハ六割四分(百九十三工場)ノ過半數ヲ占メ
次ニ乃至 $\frac{1}{10}$ ノ面積ヲ有スル工場ハ三割二分(九十四工場)在リ尙 $\frac{1}{10}$ 以上ノ狭小ナル面積ヲ有スル工場
ハ極メテ少數ヲ算スルノミ又殊ニ甚シキ炊事場ニアリテハ全然窓ノ設備無ク單ニ出入口ノミヨリ採光
スルモノニ工場在リ

面積	工場數	製絲工場數		織物工場數		合 計	百分率
		工場數	合 計	工場數	合 計		
一 以上		二二〇	七三	一九三	六四		
二 以上		五三	四一	九四	三一		
三 以上		四	八	一二			
四 以上		一	一				
五 以上		一	一				
六 以上		一	一				
七 以上		二	二				
八 以上		一	一				
九 以上		一	一				
十 以上		一	一				
無シ		二	二				
合 計		一七九	一二四	三〇三			

清潔狀況

炊事場ノ清潔程度ヲ左ノ三階級ニ區別シ見ルニ普通ト認ムル工場多數ニシテ五割一分(二百五十九工
場)ノ過半數ヲ占メ次ニ清潔ト認ムル工場ハ三割三分(百六十八工場)不潔ト認ムル工場ハ一割六分
(七十九工場)ヲ算ス

清潔度	工場數	製絲工場數		織物工場數		合 計	百分率
		工場數	合 計	工場數	合 計		
清 潔		九二	七六	一六八	三三		
普 通		一六九	九〇	二五九	五一		
不 潔		四八	三三	七九	一六		
合 計		三〇九	一九七	五〇六			

防塵設備

炊事場ニ防塵設備ヲ有スル工場ハ七割六分(三百八十九工場)在リ又此設備ヲ有セサル工場ハ二割四分
(百二十一工場)ヲ存ス

設備	工場數	製絲工場數		織物工場數		合 計	百分率
		工場數	合 計	工場數	合 計		
有		七九	四三	一二二	二四		
無		三三三	一五六	三八九	七六		

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舍ノ現況

防蠅設備

炊事場ニ於ケル防蠅設備ト稱スルモ甚タ不完全ニシテ僅二三個ノ蠅取器或ハ簍ヲ置クノミニシテ他ニ何等設備ヲ見ス然シ如斯簡單ナル設備スラ無キ炊事場多數在リ之ヲ數字上ニ見ルニ設備無キ工場ハ五割九分(三百三工場)ヲ占メ設備ヲ有スル工場ハ四割一分(二百十三工場)在リ

設備	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
有	一四六	六七	二二三	四一	
無	一七〇	一三三	三〇三	五九	
合計	三一六	二〇〇	五二六		

防鼠設備

炊事場ノ防鼠設備ニ就テハ殆見ルヘキモノ無シ唯少數ノ捕鼠器ヲ配置スルノミ故ニ左表ハ寧捕鼠設備ト稱スル方妥當ナラムカ此設備ヲ有スル工場ハ二割二分(百十一工場)ノ少數ニシテ爾餘ノ七割八分(三百九十六工場)ノ多數ニ於テハ炊事場ニ何等ノ防鼠設備ヲ見ス

設備	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
有	六五	四六	一一一	二二	
無	二四四	一五二	三九六	七八	
合計	三〇九	一九八	五〇七		

流シ場ノ清潔狀況

流シ場ノ清潔ナル工場ハ七割七分(三百八十八工場)ヲ占メ不潔ナル工場ハ二割一分(百四工場)在リ尙流シ場ヲ全然設備セサル工場少數在リ此工場ハ食物ヲ外部ヨリ搬入スルモノノミニシテ例ヘハ出前辨當等はナリ

狀況	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
清潔	一三三	一五五	三八八	七七	
不潔	六八	三六	一〇四	二一	
流シ場無シ	四	六	一〇	一	
合計	三〇五	一九七	五〇二		

食器置場ノ狀況

八八

炊事場内ニ於ケル食器置場ノ良好ナル工場ハ五割七分(二百八十四工場)在リ不良ナル工場ハ三割七分(百八十四工場)ヲ算ス尙炊事場食器置場ヲ設備セス隨所ニ之ヲ放置スルモノ二十六工場在リ

置場	工場數	製絲工場數	織物工場數	合	計	百分率
良	一六八	一一六	二八四	五七		
不	一一九	六五	一八四	三七		
置場	無シ	一二	一四	二六		
合	計	二九九	一九五	四九四		

食料品

置場ノ狀況

食料品置場ノ良好ト認ムル工場ハ六割一分(三百七工場)ヲ占メ不良ト認ムル工場ハ三割一分(百五十四工場)在リ尙一定ノ置場ヲ設備セスシテ隨所ニ放置スル工場及食物ヲ工場内ニ於テ調理セス他ヨリ搬入スル爲食料品ノ置場ヲ設ケサルモノトヲ合シ四十工場在リ

置場	工場數	製絲工場數	織物工場數	合	計	百分率
良	一八五	一三二	三〇七	六一		
不	九九	五五	一五四	三一		
置場	無シ	二四	一六	四〇		
合	計	三〇八	一九三	五〇一		

防塵設備

調理前ノ食料品ニ對シテハ何等防塵設備ヲ施サス即チ米麥等ハ多ク土藏内ニ收藏シ他ノ日用品ハ隨時購入シツツ在リ而シテ調理後ノ食料品ニ對シテハ幾分ノ防塵設備ヲ爲スト雖頗不完全ニシテ形式的ニ布片ヲ以テ被覆シ或ハ戸棚内ニ收藏ス此ノ簡單ナル防塵方法スラ實行スル工場ハ極メテ少數ニシテ漸ク二割八分(百四十五工場)在ルニ過キス之ニ反シ塵埃ニ對シ毫モ顧サル工場ハ甚タ多數ニシテ七割二分(三百六十七工場)ヲ占ムル狀況ナリ

設備	工場數	製絲工場數	織物工場數	合	計	百分率
有	九二	五三	一四五	二八		
無	二二二	一四六	三六七	七二		

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舎ノ現況

八九

合 計

三二三

一九九

五二二

九〇

防蠅設備

食料品ノ防蠅設備モ亦前者ト殆同様ノ状態ニアリ而シテ之ヲ數字上ニ就テ觀ルニ設備ヲ有スル工場ハ三割五分(百七十六工場)ノ少數ニシテ設備ヲ有セサル工場ハ六割五分(三百三十三工場)ノ多數ヲ算ス

設備

工場數

製絲工場數

織物工場數

合

計

百分率

有

一一二

六四

一七六

三五

無

一九四

一三六

三三〇

六五

合 計

三〇六

二〇〇

五〇六

防鼠設備

之又前二著ト大差無シ併ナカラ調理前ノ貯藏食料品ノ鼠害ハ塵埃又ハ蠅ト異リ經濟上直接工業主ニ對シ影響ヲ及ホスコト大ナル結果各工場トモ嚴重ニ設備ス即チ此設備ヲ有スル工場ハ七割三分(三百七十四工場)ノ多數ヲ算シ次ニ設備無キ工場ハ二割七分(百三十五工場)ノ少數ヲ見ルニ過キス

設備

工場數

製絲工場數

織物工場數

合

計

百分率

有

五九

七六

一三五

二七

無

二五二

一二二

三七四

七三

合 計

三一

一九八

五〇九

使用 水

飲料水ノ水質

外觀上ニ依ル飲料水ノ水質ハ一般ニ比較的良好ナリ即調査工場ノ九割四分(四百九十三工場)ノ大多數ハ何レモ水質良好ニシテ爾餘ノ三十工場ニアリテハ水質不良ナリ併ナカラ此ノ成績ハ外觀上ノミニ依ル鑑別ナルヲ以テ精密ナル化學的、顯微鏡的ノ試験ニ對シテハ或ハ合格セサルヤモ保シ難シ

水 質

工場數

製絲工場數

織物工場數

合

計

百分率

良

三〇一

一九二

四九三

九四

不

良

二〇

一〇

三〇

合 計

三二一

二〇二

五二三

雑用水ノ水質

大部分ノ工場ニ於テハ飲料水ト雑用水トハ同一水ヲ使用スルモ内少數工場ニ於テハ其レヲ區別ス即チ飲料ニハ水道水或ハ井水ヲ使用シ雑用ニハ河水、湖水等ヲ使用スル工場在リ此ニ雑用水ハ飲料水ニ比シ水質不良ナル工場幾分増加ス蓋シ事情不止得サル狀況ナラムカ次ニ水質ノ良、不良ヲ數字上ニ就テ見ルニ水質良好ト認ムル工場ハ九割(四百四十六工場)ヲ占メ不良ト認ムル工場ハ一割(五十工場)ヲ算ス

水質	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
良	二六八	一七八	四四六	九〇	
不良	三一	一九	五〇	一〇	
合計	二九九	一九七	四九六		

清淨装置

使用水々質ノ不良ナル工場ハ少數ナルヲ以テ清淨装置ヲ設備スル工場モ從テ少數ヲ存スノミ而シテ此清淨装置ノ構造ハ何レモ砂石、炭等ニ依ル濾過装置ニシテ他ノ特殊ナル清淨装置ヲ使用スル工場無シ次ニ此設備有無ノ割合ヲ觀ルニ清淨装置ヲ有スル工場ハ一割五分(七十七工場)ノ少數ニシテ此装置

無キ工場ハ八割三分(四百三十七工場)ノ多數ヲ占ム尙飲料水ハ濾過シ雑用水ハ濾過セス使用スル工場少數(十二工場)在リ

装置	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
有	六〇	一七	七七	一五	
無	二四八	一八九	四三七	八三	
合計	三〇八	二〇六	五二六		

水源(工場數)

工場ニ於テ使用スル水源ハ區々ナリ内多數ノ工場ニ於テ使用スル水源ハ井戸ニシテ七割六分(四百一工場)ヲ占メ爾餘ノ水源ヲ使用スル工場ハ何レモ少數ニシテ一割以内ヲ算スルノミ尙左表其ノ他欄ノ一割一分(五十六工場)ハ一工場ニ於テ二種以上ノ水源ヲ使用スルモノニシテ即チ井戸ト泉、井戸ト河川、又ハ井戸ト一般水道等ヲ約七種類合算ス

水源	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率	備考
一般水道	七	八	二五	一		

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舍ノ現況

專用水道	一一	五	一六	九四
井戸	二二六	一七五	四〇一	七六
河川	一五	六	二一	一
泉	一六	五	二一	一
其他	四六	一〇	五六	一一
合計	三三一	二〇九	五三〇	約七種ヲ包含ス

水源(個數)

水源ノ各種類ニ就キ個數ヲ見ルニ井戸ヲ使用スルモノ多數ニシテ七割七分(四百五十一個)ヲ占メ次ハ河川ヲ使用スルモノ一割(五十七個)在リ尙其ノ他ノ水源ヲ使用スルモノハ極テ少數ヲ算スルノミナリ

水源	個數	製絲工場ノ個數	織物工場ノ個數	合計	百分率
一般水道	八	一一	一九	一	一
專用水道	一八	七	二五	一	一
井戸	二六七	一八四	四五	七七	一〇
河川	四七	一〇	五七	一〇	一〇

泉	二六	七	三三	一
湖	一	一	一	一
合計	三六七	二二九	五八六	一

井戸ヨリ便所ニ至ル距離

此距離ハ工場ニ依リ遠近著シク差異在リ近キハ一間以内ヨリ遠キハ百間以上ニ及フ如斯克大差アル所以ノモノハ工場所在地ニ重大ノ關係アリ即チ少數ノ例外ハ有レト概言セハ一般敷地豊富ナル市外地ニ建設セラレタル工場ハ此距離遠隔シ市内地ニ建設セル工場ハ敷地前者ニ比シ狹隘ナル結果概シテ其ノ距離著シク接近スルヲ普通トス而シテ之ヲ調査工場數ニ就テ見ルニ距離一間以上十間未滿ノ工場ハ六割(二百八十一工場)ノ過半數ヲ占メ次ハ十間以上二十間未滿ノ工場ハ二割八分(百三十二工場)ヲ算ス尙其レ以上ノ遠距離ヲ有スル工場ハ極少數ヲ見ルノミナリ

距離	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
一間以内	一	一	一	一	一
一間以上	一四五	一三六	二八一	六〇	一
十間以上	九四	三八	一三二	二八	一

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舍ノ現況

二十間以上	二八	三三	三一	九六
三十間以上	一三	一二	一五	
五十間以上	九	十	九	
百間以上	三	一	三	
合計	二八二	一九〇	四七二	

井戸ヨリ便所ニ至ル距離ノ最モ遠隔ナル工場ハ百二十間ニシテ最モ接近スル工場ハ半間而シテ此平均距離ハ十間ナリ

距離	工場数	製絲工場	織物工場	平均
最遠		一二〇、〇	四〇、〇	八〇、〇
最近		一、〇	〇、五	〇、八
平均		一二、五	七、五	一〇、〇

井戸ヨリ下水溜ニ至ル距離

下水溜ヲ設備スル工場中井戸ニ至ル距離一間以上十間未滿ヲ有スル工場最モ多數ニシテ六割二分(九

十七工場)ヲ占メ十間以上二十間未滿ノ距離ヲ有スル工場ハ二割二分(三十四工場)ヲ算ス尙其レ以上ノ距離ヲ有スル工場ハ何レモ少數ヲ存スルノミナリ

距離	工場数	製絲工場数	織物工場数	合計	百分率
一間以内		三一	三三	六一	二一
一間以上		五〇	四七	九七	六二
十間以上		二〇	一四	三四	一二
二十間以上		四	四	八	三
三十間以上		八	一	九	一
五十間以上		七	一	八	一
合計		八九	八六	一七五	一〇〇

井戸ヨリ下水溜ニ至ル距離ノ最モ遠隔ナル工場ハ六十間ニシテ最モ接近スル工場ハ半間ナリ而シテ此平均距離ハ十間ナリ

距離	工場名	製絲工場	織物工場	平均
最遠		六〇、〇	三〇、〇	四五、〇

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舍ノ現況

最	近	二一〇	三〇、五	九八
平	均	二二、五	七、〇	一〇、〇

井戸ヨリ塵芥溜ニ至ル距離

塵芥溜ヲ設備スル工場中井戸ニ至ル距離一間以上十間未滿ノ工場比較的多數ニシテ三割五分(百工場)ヲ占メ十間以上二十間未滿ノ距離ヲ有スル工場ハ二割八分(八十一工場)二十間以上三十間未滿ノ距離ヲ有スル工場ハ一割五分(四十四工場)三十間以上五十間未滿ノ距離ヲ有スル工場ハ一割三分(三十七工場)ヲ算シ其レ以上ノ距離ヲ有スル工場ハ何レモ少數在ルノミナリ

距離	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
一間 以內	二	一	一	二	二
一間 以上	三七	六三	一〇〇	一三七	三五
十間 以上	四七	三四	八一	一六二	二八
二十間 以上	二七	二七	四四	九八	一五
三十間 以上	三〇	七	三七	七四	一三
五十間 以上	一一	五	一六	三二	五

百 間 以 上	八	八
合 計	一五一	二八七

井戸ヨリ塵芥溜ニ至ル距離ノ最モ遠隔ナル工場ハ百八十間ニシテ最モ接近スル工場ハ半間ナリ而シテ此平均距離ハ十九間ナリ

距離	工場名	製絲工場	織物工場	平均
最 遠		一八〇、〇	五〇、〇	一一五、〇
最 近		〇、五	一、〇	〇、八
平 均		二四、五	二一、〇	一九、〇

炊事方法

炊事ノ方法ハ自炊制、受負制、直營制ノ三種アリ内自炊制ヲ採ル工場ハ概シテ市外地ニ建設サレ且使用職工少數ナル工場ニ於テノミ見ル狀況ニシテ此工場ニアリテハ米、麥等ノ主食物ハ職工各自宅ヨリ持參シ爾餘ノ日用品ハ附近ニ於テ各自購買スルヲ普通トス此制度ヲ採ル工場ハ少數ニシテ七分(三十

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舍ノ現況

(八工場)ヲ存スルノミ次ニ受負制ヲ採ル工場ハ或特定ノ受負人ニ對シ工業主ヨリ一人一日ノ食料幾何ト契約シ其ノ食物献立ニ對シテハ工業主之ヲ監督ス此制度ヲ採ル工場ハ著シク少數ニシテ僅四分(二十工場)ヲ算スルノミ次ニ直營制ヲ採ル工場ハ甚多數ニシテ今日各工場ニ於テ施行シツミアル普通ノ制度ナリ即工場ニ一定ノ炊事人ヲ置キ從事セシム此ノ方法ヲ採ル工場ハ八割九分(四百五十工場)在リ

方法	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
自炊制	一七	二一	三八	七	
受負制	八	二二	二〇	四	
直營制	二八七	一六三	四五〇	八九	
合計	三一二	一九六	五〇八		

食費負擔方法

食費負擔方法ニ三種アリ内比較的多數工場ノ採リツ、アル制度ハ職工及工業主カ全食費ノ幾部分宛ヲ分擔スル方法ニシテ四割五分(二百二十八工場)ヲ算ス次ハ食費全額ヲ工業主ニ於テ負擔スル工場ニシ

テ三割八分(百九十六工場)在リ次ニ之ト反對ニ食費全額ヲ職工ニ於テ負擔スル工場ニシテ一割七分(八十九工場)ヲ存ス

方法	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
職工及工業主ノ分擔	一〇八	一二〇	二二八	四五	
工業主ノ負擔	一七五	二一	一九六	三八	
職工ノ負擔	二八	六一	八九	一七	
合計	三一一	二〇二	五二三		

職工及工業主ノ分擔

食費ノ一部分ヲ工業主ヨリ補助スル工場ハ二百二十八工場在リ而シテ工業主ヨリノ補助額タルヤ頗ル區々ニシテ職工一人一日ニ對シ少キハ一錢ヨリ多キハ十四錢ニ達ス左ニ職工一人一日ノ食費全額ヲ四階級ニ區別シ觀察スルニ十錢以上十五錢未満ノ工場ハ六割四分(百四十七工場)ノ多數ヲ算シ是等ノ工場ニ於テハ職工ヨリ平均八錢四厘乃至八錢八厘ヲ徵收シ工業主ヨリ平均三錢二厘乃至三錢六厘ヲ補助シ次ニ一日ノ食費額十五錢以上二十錢未満ノ工場ハ三割一分(七十工場)在リ此工場ニアリテハ職工ヨリ平均九錢七厘乃至十錢二厘ヲ徵收シ工業主ヨリ平均六錢八厘ヲ補助ス尙一日ノ食費額二十錢以上

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舎ノ現況

二十五銭未満ノ工場ハ少數ニシテ僅ニ八工場アルノミ此ノ工場ニアリテハ職工ヨリ平均十二銭乃至十三銭ヲ徴收シ工業主ヨリ平均九銭乃至九銭三厘ヲ補助ス尙一日ノ食費額二十五銭以上二十八銭未満ノ工場ハ漸ク三工場ヲ存スルノミナリ

金額	職工ノ平均負擔額		工業主ノ平均負擔額		工場數		工場合計	百分率
	製絲工場	織物工場	製絲工場	織物工場	製絲	織物		
十銭以上	八、四	八、八	三、六	三、二	八二	六五	一四七	六四
十五銭以上	九、七	一〇、二	六、八	六、八	二五	四五	七〇	三一
二十銭以上	一二、〇	一三、〇	九、〇	九、三	一	七	八	一
二十五銭以上	—	一一、〇	—	一五、二	—	三	三	—
合計	—	—	—	—	一〇八	一二〇	二二八	—

食費ヲ職工及工業主ノ分擔ト爲ス工場中職工負擔額ノ最モ多キ工場ニ在リテハ一人一日十四銭ニシテ最モ少額ナル工場ハ五銭ナリ此平均額ハ九銭四厘トス次ニ工業主ノ負擔額最モ多キ工場ニ在リテハ一人一日ニ對シ十四銭ニシテ最モ少額ナル工場ハ一銭ナリ此平均額ハ四銭八厘トス

金額	負擔者	工場名	平均
		製絲工場	織物工場

最 多	職工ノ負擔額		工業主ノ負擔額	
	金額	工場數	金額	工場數
最 少	六、〇	五、〇	一、〇	一、〇
平 均	八、八	九、九	四、六	五、〇

工業主ノ負擔

食費全額ヲ工業主ニ於テ負擔スル工場ヲ其ノ金額ニ就キ見ルニ最モ多數ナルハ一日十銭以上十五銭未満ノ食費ヲ負擔スル工場ニシテ五割九分(百十五工場)ノ過半數ヲ占メ一日十五銭以上二十銭未満ノ食費ヲ負擔スル工場ハ三割七分(七十二工場)在リ其ノ他ノ金額ヲ負擔スル工場ハ極メテ少數ヲ存スルノ

金額	工場數	合計	百分率
八銭以上	二	二	—
十銭以上	一〇二	一四	一二五

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舎ノ現況

十五錢以上	七〇	一〇四
二十錢以上	二	三七
全額	一	二
合計	一七五	一九六

食費全額ヲ工業主ニ於テ負擔スル工場中最多額ヲ負擔スル工場ハ一日二十錢最少額ノ工場ハ一日八錢ニシテ平均負擔額ハ一日十三錢二厘ナリ

金額	工場名	平均
最多	製絲工場	二〇、〇
最少	織物工場	一五、〇
平均		一〇、〇
		一三、八
		一二、六
		一三、二

職工ノ負擔

食費全額ヲ職工ニ負擔セシムル工場中一日ノ金額十錢以上十五錢未滿ヲ職工ヨリ徴收スル工場最多數ニシテ六割(五十三工場)ヲ占メ次ニ七錢以上十錢未滿ヲ徴收スル工場ハ一割九分(十七工場)十五

錢以上二十錢未滿ヲ徴收スル工場ハ一割五分(十三工場)在リ尙其ノ他ノ金額ヲ職工ヨリ徴收スル工場ハ少數ヲ算スルノミナリ

金額	工場數	製絲工場數	織物工場數	合計	百分率
七錢以上	五	一	二	一七	一九
十錢以上	一九	三	四	五三	六〇
十五錢以上	一	一	三	一三	一五
二十錢以上	一	一	一	一	一
全額	四	一	一	五	一
合計	二八	六	一	八九	

食費全額ヲ職工ニ負擔セシムル工場中最モ多額ナルハ一日二十錢最少額ナルハ一日七錢ニシテ此平均額ハ十一錢ナリ

金額	工場名	平均
最多	製絲工場	一三、〇
最少	織物工場	二〇、〇
平均		七、〇
		七、〇
		七、〇

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舍ノ現況

平均

均

1,000

1,100

1,100

106

通勤職工ノ食事

一般通勤職工ハ自宅ニ於テ食事ヲ爲シ晝食ハ各自辨當ヲ持參スルヲ以テ原則トス併シ便宜上之ヲ支給スル工場在リ此食費ハ市價ヨリ幾分低廉ナル金額ヲ食事度数ニ應シ徴收ス次ニ如斯方法ニ依リ通勤職工ニ食事ヲ支給スル工場ト通勤職工ニハ全然食事ヲ支給セサル工場トノ割合ヲ見ルニ支給スル工場ハ三割八分(百八十七工場)ニシテ支給セサル工場ハ六割二分(二百一十一工場)ヲ占ムル狀況ナリ

支給	工場數		合計		百分率	
	有	無	有	無	有	無
製絲工場數	137	163	50	148	187	38
織物工場數	198	300	198	300	498	62
合計	335	463	248	448	595	100

食事ノ回数

一日ノ食事回数ハ大部分ノ工場ニ於テ三回制ヲ採ル即調査工場中九割(四百七十六工場)ヲ占ム又從來其ノ地方ニ於ケル習慣ニ依リ一日四回制ヲ採ル工場在リ併シ此工場ハ極メテ少數ニシテ僅ニ四十八工場ヲ算スルノミ其ノ他例外トシテ男女及季節ニ依リ食事回数ヲ異ニスルモノ五工場在リ之等ノ工場ニ於テハ男工ヲ四回女工ヲ三回トシ夏季ハ四回冬季ハ三回食事セシムルヲ普通トス

回数	工場數		合計		百分率	
	一日三回	一日四回	一日三回及四回	合計	一日三回	一日四回
製絲工場數	276	42	318	796	90	10
織物工場數	200	6	206	406	51	49
合計	476	48	524	1202	44	56

食物

主食物ニ於テ主食物トシテ使用シツツアルハ米、麥、粟、甘藷ノ四種ナリ内主食物トシテ單ニ米ノミヲ使用シ他ノ物ヲ混合セサル工場ハ四割三分(二百二十四工場)ヲ占ム而シ其ノ内少數工場ニ於テハ日本

製絲及染織工場ニ於ケル寄宿舍ノ現況